

(新) 志道館の基本設計の概要をお知らせします

問 スポーツ・生涯学習課 ☎ 0187



外観イメージ

武道・スポーツを通して 市民が交流できる施設へ

現在の志道館は昭和50年に建築し、武道の活動拠点として利用されてきましたが、老朽化が著しく十分な活動環境を整えることが難しい状況となっています。

そこで、市では「十和田市公共施設等総合管理計画」に基づき（新）志道館建設事業を進め、平成31年3月に策定した基本構想において、（新）志道館のコンセプトや必要な機能などをまとめました。

これらを踏まえ、さらに施設規模や事業費などをより具体的に検討し、施設の機能や平面計画、内外のデザインなど（新）志道館完成時の姿を示す基本設計がまとまりましたので、概要をお知らせします。

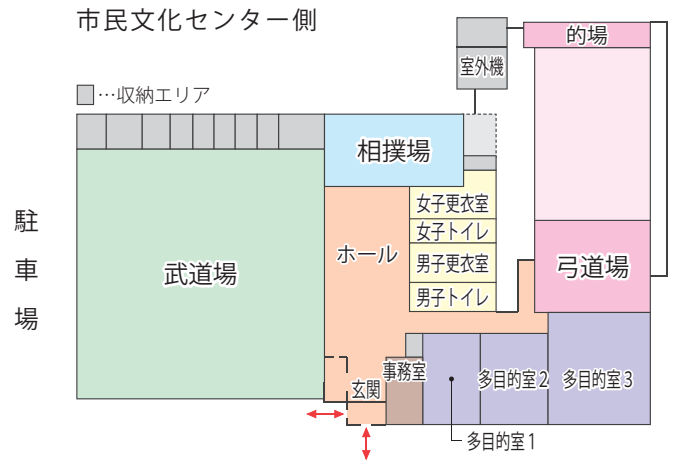
【基本コンセプト】

武道・スポーツ活動を促進する施設
交流・人づくりができる施設
健康・体づくりができる施設
安心安全に利用できる施設

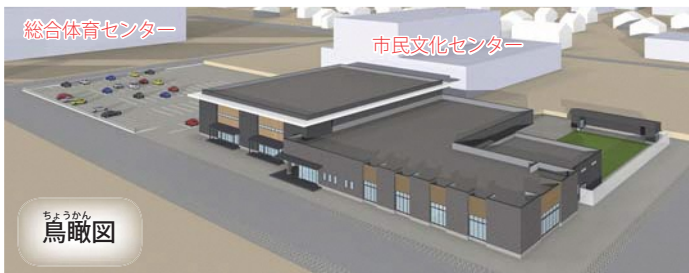
【特徴】

武道場（柔道、剣道、空手、なぎなた、少林寺）、相撲場、弓道場のほか、会議などにも使用できる多目的室を設けます。また内装には、落ち着きが感じられるよう木材の使用を予定しています。

館内の平面図



武道場イメージ



鳥瞰図

建設規模	
建設場所	現在の志道館に隣接する4施設（勤労青少年ホーム、同体育館、旧市民屋内グラウンド、旧教育研修センター）敷地
施設概要	敷地面積 約6,800㎡
	延べ床面積 3,230㎡
	構造 鉄骨造平屋建
建設費用	約19億4千万円（外構工事含む）

スケジュール（予定）	
令和2年3月	既存の4施設解体工事着工
9月	（新）志道館建設工事着工
令和4年4月	供用開始
令和4年度	現在の志道館解体工事 外構工事（駐車場等外構整備）